

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します



1月27日に総社消防署を消火器訓練をするため訪れた日本語教室のメンバー

私は総社市の「地域でつながる日本語教室」に通っています。日常生活で日本人と話すとき、言い方に小さい間違いがあってもだれも正しく教えてくれません。外国人なので許してくれるのだと思います。教室では間違いがある、とすぐ正しい言い方を教えてくれるのが、とても重要なポイントだと思います。

を借りる方法や火災のときなどをテーマにして、リアルなシミュレーションをする機会があり、みんなすごく興味をもっています。最近では、病院を受診したときに、以前教室で学んだ会話をつかうことができたとてうれしかったです。講師の方や通訳さんにも心から感謝しております。(シチーカスヴァルテルさん・井尻野)

昨年12月から1月にわたり開催されたSOJAイルミネーションコンテスト2012に、女性理容師6人で出品しました。イルミネーションを飾ったのは初めて。「世界平和」をテーマに、ピンクのハートをデザインしました。作品を取り付ける自宅兼店舗の壁面は、総社駅前のベストポジション。華やかに飾られたイルミネーションを一目見ようと、大勢の人でにぎわいました。見に来ていた人たちから「きれいですね」、「まちが明るくなった」という声を聞くことができ、とてもうれしかったです。



「グループとこやのおかあさん」で出品したイルミネーション作品

コンテストの結果は、最優秀賞がTEAM KIZUNA、優秀賞はfamilyo、総社市観光協会長賞は総社商店会でした。入賞はできませんでしたが、参加者全員で総社のまちを元気にできたと感じています。準備は大変ですが、ぜひ次回もコンテストにチャレンジし、総社を盛り上げたいと思います。(難波則子さん・駅前二丁目)

今月の表紙

学校給食の総社ドッグを元気に食べる常盤小学校の1年生。

編集後記

■初めておもちゃの病院を利用し、諦めてた壊れたおもちゃが治るのを目の前にして感激。原稿の校正で隔々読むことで情報を得て良かった。
■子どもたちに安全な食材を届けるためにも、学校給食でさらに市内野菜が使用されてほしい。
■食べる楽しさは小学生も100歳も同じ。取材でいろんな人に会うという学べる。
■学校給食をおいしそうに食べる小学1年生はとてかわいかった。みんなが大人になったとき、総社ドッグが思い出のメニューになるのかな。

チュッピーのジクソーパズルが当たる

広報クイズ

今月の『広報そうじゃ』を読んで、次のクイズにお答えください。

Q1 医療費の増加を抑えるため設置されたのは「小児医療費〇〇〇〇〇本部」
【応募方法】 はがきに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。正解者のなかから2人にチュッピーのジクソーパズルを贈ります。
【応募期限】 4月1日(月)
【1月号の答え】 スポーツアワード
【1月号の当選者】 松永スマ子さん(中央六丁目)、岡本静子さん(門田)
■応募先 〒719-1192 中央一丁目1番1号 総社市役所企画課

市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。
1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
1 生涯学び
明るい家庭をきずきましよう。
1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましよう。

市の花・木・鳥

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ

総社の野菜が活躍中

地産地消の取り組みを進めている、「地・食べ」委員会。市内のスーパーマーケットでの直売所や、学校給食での使用量を増やすなど「儲かる野菜づくり」に取り組み、総社を元気にしています。

▼**そうじゃ地・食べ市場オープン**
総社の新鮮な野菜を提供する直売コーナー「そうじゃ地・食べ市場」が1月18日、プラザ総社店と久代店にオープンしました。



オープンしたプラザ総社店の「そうじゃ地・食べ市場」で野菜を買い求める客。「身近な所で作られた野菜には安心感がある」と話す

店内に設置されたコーナーでは、ハクサイやダイコンなど約20品目を時価より若干安い値段で販売。商品には生産者の名前を表示して安心して購入できます。

現在、直売所は市内に6店舗。今後も増設し、市民のより身近な場所でも総社産の野菜を購入できるシステムを作っていきます。
栽培契約を締結している「地・食べ」生産者は、25地区、176人に拡大。着実に野菜づくりの輪が広がり、総社を元気にしています。

問い合わせ 農林課農林係 (☎8271)

▼**学校給食を知っ展Ⅳ**

学校給食を知っ展Ⅳが1月18日、19日の両日、天満屋ハピータウンリブ総社店で開催されました。給食の歴史や市内の小・中学校19校分のリクエスト給食、「地・食べ」による総社産の野菜を使った給食レシピなどを展示。また、野菜の生産者を写真付きで紹介し、安全で安心な食材を使用していることをPRしました。
18日には、給食献立の一つ、セロリやニンジン、黒豆などを使った吉備路おこわの試食会も行われました。訪れた人は、「野菜嫌いでもおいしく食べられる」と郷土メニューを堪能しました。

問い合わせ 総社東学校給食共同調理場 (☎2616)



学校給食に市内産の野菜が使用されていることを紹介する展示パネル

総社市が最大の上昇幅

岡山県教育委員会が行った、県内の学校給食に使用される県内産食材の使用状況調査で総社市は前年度比14.8ポイント上昇。県内15市のなかで最大の上昇幅でした。
地元食材の利用は、農業振興と児童、生徒の食への感謝の心を育てることにつながります。